



# みらい通信 号外

各務原市議会  
市民派・チームみらい  
杉山 元則

事務所：蘇原緑町 4-15

電話 090-7678-7869

FAX 058-382-3980

120 億円の体育館建設計画が進んでいますが、基本計画を見ると「詳細は何も決まっていない」ことがわかります。大変大きな事業なのに十分な検討もされておらず、計画はずさんで、一般質問の答弁は疑問だらけです。事業は決まったかのように市は説明していますが、まだ計画段階です。新体育館完成は7、8年先で、建設予算は議会で可決されておらず、**建設を止める事はできません！**この通信を読んで、事業の妥当性について考えて下さい。

## ①現総合体育館の取扱いを決めていません

計画作成時に決めるはずが未だ決めずに先送りしています。

## ②3000 席必要なイベントは何も決まっています

固定観覧席 1400 席を含む 3000 席を確保すると計画しています。

## ③事業費 120 億円がさらに高騰する可能性があります

一旦進んでしまうと事業費が膨らんでも止めることができません。

## ④料金設定や収入見込みを詳細におこなってません

毎年1億円赤字の見込みですが更に増える可能性があります。

## 120 億円の新体育館建設は中止に！

新総合体育館  
・総合運動防災公園



## 現体育館は、解体される可能性があります！



市は「新総合体育館の完成は、7、8年先の話ですので、現時点で、現総合体育館をどうするかは決めることが出来ません。現に年間20万人に愛されている大切な施設ですので、適切に管理して使っていくこととなります。

ただし、新総合体育館に機能移転した後については、その時点でどうするかを判断する必要があります。」と回答しています。市の資料にも、現総合体育館としての機能を新総合体育館にて代替した場合には、現総合体育館は体育館以外としての利用を検討します。と書かれていて、解体する可能性はあることとなります。

### 【杉山の質問】 いつ、どのような方法で取扱いを決定するのか。

【市の答弁】 可能性だけを言えば、壊すことはあるし、残すことはあるし、民間で活用することもある。決定の時期についても今、正に検討をしている段階で早めに決めていきたい。

【杉山の意見】 現体育館をどうするのか決めてから、新体育館計画を進めるべきなのに、新体育館建設ありきとなっています。現体育館は利便性に優れ多くの市民に利用される大切な施設です。改修しながら使い続けるべきです。

公式 LINE 登録  
お願いします



## 120 億円の新総合体育館・総合運動防災公園整備の中止を求める「署名活動」

このムダな大型箱物事業を止めるには、市民の皆さんが中止を求める活動に共感して、協力して頂くことが大切です。この事業を止めないと、財政悪化で市民サービスに悪影響が及ぶことや、将来世代にツケが回ってしまうことが懸念されます。もし事業を中止できれば、少子化や高齢化対策、下水道料金引下げなど市民の願いが叶う政策に税金を使うことができます。左の QR コードから LINE 登録して杉山まで意見を聞かせて下さい。



## 3000 席(固定席 1400 可動席 1600)を確保する計画

【杉山の質問】 固定席 1400 席が必要なイベントとは何か。どのくらいの頻度を見込むか。

【市の答弁】 岐阜スーパースは現在プロバスケ B3 所属ですが B2 への昇格を目指して頑張っており、B2 へ昇格した時に 3000 席あると良いということ。固定席は観覧者だけではなく大会で荷物を置いて観覧したりとか 1000 席はほしいと意見があり、1000 席を配置したら自然に 1400 席となった。1400 席必要なイベントは何で、その頻度についてはお答えすることはありません。

### 【杉山の質問】 新体育館の利用料収入の見込みは

【市の答弁】 新総合体育館における施設の貸出単位や料金設定について検討する前の段階であり、詳細な収入見込みは行っていないためお答えすることはできません。

### 【杉山の質問】 物価高騰しており事業費の見直しとその公表は

【市の答弁】 基本計画にも“資材価格や人件費高騰により事業費が変動する可能性がある”と書いてあります。いくらまでなら事業を進められるかは、お答えすることは困難ですが、物価動向を注視しながら慎重に検討します。

【杉山の意見】 3000 席は「あったらいいな」、収入見込みは「赤字になれば税金で穴埋め」、120 億円の事業費が「小さく産んで大きく育つ公共事業」になってしまいそうで心配です。

## 浅野市長は新総合体育館について答弁しません

【杉山の質問】 浅野市長が直接市民に説明する機会を持つべきではないか。

【市の答弁】 我々職員は身分が違いますが、心の中では市長のつもりになって働いています。

市長が直接ということで最たるものが、先日、小中学生を対象にした新体育館についての夏休みの作品の表彰がありました。その後に、子供たちと保護者がツーショットの写真が撮りたいからと並んでいました。市長は次の公務がありました。市長と写真撮影をしました。市長と写真が撮りたい、正に市民に近い市長だと、職員の私も誇りに思いました。そのように市長は市民に直接訴えかけています。

【杉山の意見】 市長は“市長”で、職員が代わるものではありません。また市長が市民と写真を撮ること、直接訴えかけることと何の関係があるのでしょうか。「答えになっていない！」とがっかりしました。今回こそは市長が答弁をすると期待しましたが、体育館建設の答弁は職員に任せて議場の自席で黙って座ったままです。12 月議会でも 4 つの常任委員会は全て欠席です。議会に対するやる気の無さが見られ残念です。